

# 人づくりと地域づくり、 当事者としての 大学の役割を考える



本シンポジウムは、少子高齢化が進む私たちの社会が求める「人づくり」と「地域づくり」のイメージを構想すること、さらに実際に取り組みられている事例を探り、その中から新たな社会を作り出す動因を見つけ出すことをテーマにしています。高等教育・先端研究・社会貢献を担う大学が行う「人づくり」と「地域づくり」の本来的な中身とは何かを改めて考えます。

2018年11月30日(金)  
13:00—16:30

会場  
立命館大学びわこ・くさつキャンパス  
エポック立命21 1階エポックホール

参加費 無料(事前申込制)

主催:立命館大学社会システム研究所  
後援:滋賀県、草津市、京都新聞、立命館大学経済学会

13:00 開会挨拶

佐藤卓利(立命館大学社会システム研究所・所長/経済学部・教授)

13:05 基調講演

## こぼれにくい地域づくりが 人をつくる

湯浅誠氏(社会活動家/法政大学・教授)



14:15 報告

### 分野を越えた協働実践でつくる共生社会

谷口郁美氏  
(社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会・事務局次長)



14:45 報告

### 「地方創生」時代における暮らしと学び

宮下聖史(立命館大学共通教育推進機構・講師)



15:25 全体討論 パネリスト:湯浅誠氏、谷口郁美氏、宮下聖史  
モデレーター:佐藤卓利

16:25 閉会挨拶

## 参加お申込み

裏面をご参照ください

<お問合せ先>

立命館大学 BKCリサーチオフィス(上杉)

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1

☎ 077-561-3945

✉ social-s@st.ritsumeikan.ac.jp

## 講師紹介

## ●湯浅 誠氏(社会活動家/法政大学・教授)

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。1995年よりホームレス支援、生活困窮者支援に携わり、内閣府参与、内閣官房社会的包摂推進室長などを歴任。講演内容は貧困問題にとどまらず、地域活性化や男女共同参画、人権問題などに渡る。

## ●谷口 郁美氏(社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会・事務局次長)

大学卒業後、中学校教員として勤務。2003年に滋賀県社会福祉協議会に入職。滋賀の縁創造実践センター(2014年9月設立)所長を経て現職。

## ●宮下 聖史氏(立命館大学共通教育推進機構・講師)

立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程修了後、長野大学復興支援コーディネーター・非常勤講師、長野県住民と自治研究所理事・事務局長などを経て、2015年度より現職。専門は地域社会学、コミュニティ論、地方自治論。

## 参加お申込み

裏面をご参照ください

参加ご希望の方は、①氏名 ②所属・職位 ③電話番号

④メールアドレスをご記入のうえ、WEB/メール/FAXのいずれかにてお申し込みください。

※ご記入いただいた個人情報は本シンポジウムに関するご連絡や案内の目的にのみ使用いたします。

## WEB



スマートフォンや  
携帯電話からは  
このQRコードで  
アクセスできます。

<http://bit.ly/social1130>

## メール

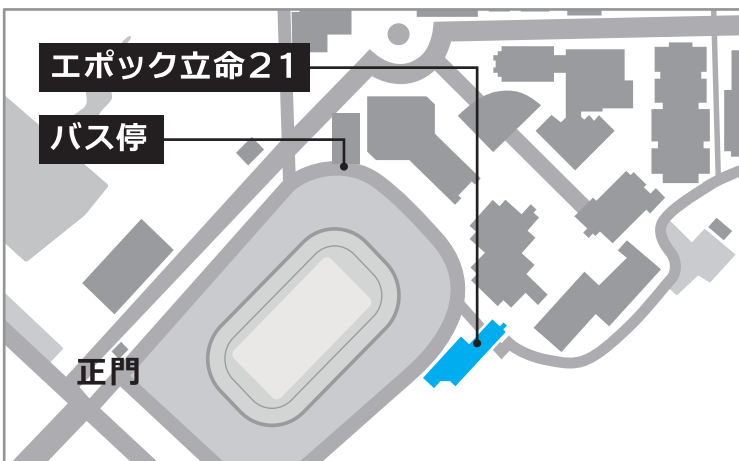
[social-s@st.ritsumei.ac.jp](mailto:social-s@st.ritsumei.ac.jp)

## FAX

077-561-3955

## FAX申込用紙 (077-561-3955)

氏名	
所属・職位	
電話番号	
メールアドレス	



## 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

## アクセス

「JR南草津駅」で近江鉄道バス「立命館大学行き」または立命館大学経由「飛島グリーンヒル行き」に乗り換え約20分

## お問合せ先

立命館大学 BKCリサーチオフィス(上杉)

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1

077-561-3945

social-s@st.ritsumei.ac.jp